

数値で見る神奈川県 の 状況

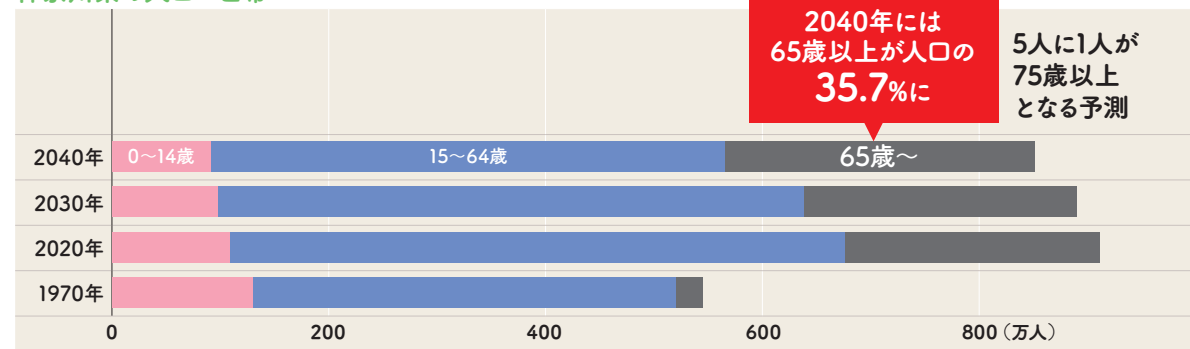
このままでは、私たちの未来は少子高齢化が現実には？！

人口の2.8人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上で、
高齢者と生産年齢人口の比率は、1対1.5。

1人～2人の64歳までの人が、1人の65歳以上の高齢者を支えていく社会を迎える予測。

出典：総務省「国勢調査」国立社会保障・人口問題研究所

神奈川県の人口・世帯



こんなこと
すすめてほしい

パルシステム神奈川に

「すすめてほしい」総合福祉の取り組みは？

あったら
いいな！

組合員の声

居場所づくり



- 子どもが安心して自由に遊べる場所。
(地域の中のコミュニティカフェ・こども食堂がほしい。)
- 地域の同世代のお子さんを育てるママ同士のつながりがあまりなく、そういう機会があるとうれしい。
- 学習支援をしてくれる場所が増えるといいな。

子育て支援



- 子育て広場や保育園、学童保育、一時預りがあるといい。
- 安心な食材をたくさん取り扱っているの
で、給食や親子カフェなども強みになる。
- 子どもを預ける場所が少なく、高額で困っている。

障がい者支援



- 障がい者支援事業をしてほしい。
- 障がいのある人が同じ現場にいることで、
いろいろな考え方をもって仕事に取り
組める。

見守り活動



- パルシステムだと、週1で配送していた
だけで、個人とのコミュニケーションが
図りやすい。
- 高齢者などの単身世帯は、誰にも会わ
ないことも多いから。
- 信頼第一なのでパルシステムなら高齢者
も安心なのは。

配食サービス



- 体調不良などで食事が作れないとき、お
弁当などが届いたらとても助かる。
- 高齢になると三食を作るのも大変になる。
- 安心な材料を選んで作ってくれそう。
- 食事がきちんととれなくなっている高齢
者が多いと感じる。
- 高齢の両親と同居で、配食サービスが頼
めると負担が減ってうれしい。

買い物支援、外出支援



- パルシステムが得意とする分野だと思う。

高齢者福祉事業



- デイケアなど在宅介護の支援、グループ
ホームがほしい。
- 高齢でがんばって、ひとり暮らしをしてい
る人には国からの援助がない。

生活協同組合

パルシステム神奈川

総合福祉

パルシステム

人

地域

団体

パルシステム神奈川2030年ビジョン

だれもが認めあい、ともにいきる地域づくり

パートナーシップの力で、だれもが多様性を認めあう地域社会をつくり、生命(いのち)と未来を守っていきます。

総合福祉を推進するのはなぜ？

私たちのくらしは、超少子高齢社会、格差拡大、地域コミュニティの弱体化など、今まで以上に地域課題が切迫する社会になると考えられます。そのような課題を解決するために、
パルシステム神奈川がこれまで力を注いできた事業や活動をいかし、地域で何ができるかを考えたものが総合福祉です。



地域共生社会の 実現に向けて

- 誰もが安心して地域でくらす
るために、すべての事業
活動において福祉の視点
を貫いた運営を行います。
- くらしを支援できる地域福
祉の体制を構築してセー
フティネットを広げます。
- 地域が主体となることを
大切にし、一人ひとりが多
様性を認めあい自分らし
く生きていける社会づくりに
貢献していきます。



生活協同組合パルシステム神奈川 ☎045-470-4175(代表)

発行2025.4

pal*system
パルシステム神奈川

もっといい明日へ
超えてく

総合福祉のありたい姿

事業活動の拡充と新たな取り組みで、誰もが安心してくらせる地域づくりへ

福祉たすけあい活動

組合員活動、地域団体、協同組合などと連携した活動によって、地域の人々を元気にし、継続的に組合員の困りごとやニーズにこたえ、相互扶助の生協活動がすすめられています。

総合福祉推進拠点

くらし助け合い ゆいねっと

家事や保育などちょっとした手助けが必要なおきに支え合う組合員活動



居場所づくり



グループ一時保育 すまいる



地域わくわくプロジェクト

地域包括支援センターや自治会などと連携した取り組み

健康チェックの会

血管年齢や基礎代謝量などを測定し、楽しい健康づくりとフレイル予防



子育て支援

地域団体の拠点での子育て広場や配送センターの保育室開放



かながわ MIRAIクラブ

県内に生まれたお子さんに贈る「はじめてばこ」を通したサービス

多世代交流

ケアラー支援・学習支援

孤立しない支援

食を通じた様々なニーズ

「食」は総合福祉の視点からもパルシステムに求められる重要な要素となっています。安全安心な「食」のお届けを通じて、個々の世帯の生活環境や世代のニーズに対応した事業と活動を展開しています。

『きなりセレクト』

大きな文字で注文しやすいカタログ

リーディングサービス



『ケア・さばーと』

大人用おむつや介護食などのオプションカタログ

ステーションパル

通常の配達以外に商品を受け取るサービス



『いいね! かながわ』

「地産地消」「社会貢献」商品を企画した当組合限定カタログ

組合員活動

食育の輪を広げる



お米の授業

小学生を対象とした食育活動



運転免許証返納者の宅配手数料無料 (満70歳以上)

買い物支援

地域諸団体との連携推進

パルシステムの資源や強みをいかし、地域にセーフティネットの輪を拡大しています。

福祉事業の推進

在宅事業を中心に高齢者支援が広がり、居住系サービスの整備も併せて展開しています。介護保険事業だけではなく、これまでの実践をいかし、障がい者支援事業や子育て支援事業に取り組みます。

居宅介護支援



福祉用具小物販売



訪問介護



家事支援サービス

ぬくもりぶらすケア

介護保険外の日常生活サポート
例：病院内の介助、同居家族がいる方の掃除・調理など



介護相談

生協10の基本ケア

小規模多機能型居宅介護

認知症対応型グループホーム

人材の育成と福祉の視点での就労支援

すべての役職員が総合福祉にすすんでかかわります。障がい者や社会から孤立している人たちの就労と社会進出が行われています。

介護職員初任者研修・認知症サポーター養成講座



くらし福祉課題の学習会

障がい者や若者支援など、くらしや福祉課題を学ぶ機会を提供



就労支援

養護学校、支援団体からの実習受入れ。他団体や自治体と連携して就労相談会を実施



就労継続支援B型事業所での農福連携



産学連携



諸団体との連携

市民活動応援プログラム

県内のNPO法人や市民団体の取り組みを資金面で応援



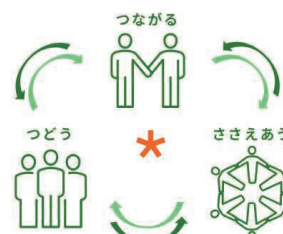
地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、自治会、行政、企業、学校、NPO、農協、医療生協などとの連携



SDGsカードゲームなど

居場所づくり

「地域わくわくプロジェクト」として、配送センター施設を活用したつどいの場



地域見守り

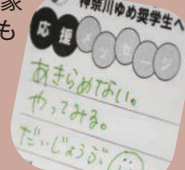
県警と連携した「こども110番の車」の取り組みや、自治体との協定※に基づいた地域見守り活動
※神奈川県、大和市、横須賀市、相模原市と締結(2025年4月1日現在)



くらしの課題解決

奨学金制度

「神奈川ゆめ社会福祉財団」を設立し、高校生対象の給付型奨学金制度を実施。パルシステムグループとして大学生対象の制度も実施



地域諸課題への取り組み

NPO法人「セカンドリーグ神奈川」を設立し、地域の困りごとを解決



食支援のネットワーク

諸団体と「フードバンクかながわ」を設立し、生活困窮者支援と食品ロス削減を実施



「フードバンクかながわ」へ食品を寄付